

アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和3年9月22日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- ・栄養の蓄積状態を示す貝柱のグリコーゲン含量は、前月に比較して増加したが、各漁場で健康度の指標となる3.0%を下回っている。
- ・貝殻真珠層の褐変個体は、北部漁場では確認されなかったが、中、南部漁場では出現率が上がった。
- ・貝柱の赤変個体は、引き続き確認されなかった。
- ・前月の調査以降、4℃以上の水温上昇を伴う急潮の流入が2回確認されたが、現在の水温は平年並みで推移している。
- ・栄養の蓄積状態が十分でなく、真珠層の褐変個体の出現率が上昇していることから、引き続き貝の管理に注意してください。

2 調査結果一覧

漁場 ^{*1}	貝の種類 (R2産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北部	日中交雑貝 ^{*2}	1.7(2.8)	1.6(-0.3)	0	0%
中部①	日中交雑貝	1.0(2.1)	2.0(0.0)	0	20%
中部②	日中交雑貝	2.9(0.8)	1.2(0.1)	0	5%
南部	日本貝	2.3(1.0)	0.3(0.2)	0	15%
南部	日中交雑貝	2.3(1.8)	1.3(0.1)	0	10%
平均値		2.0(1.7)	1.3(0.0)		

*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

() 内は昨年同月の値

3 調査方法

- ・4月から11月まで月1回(概ね第3週)、各漁場・種類毎に20個を調査。
- ・愛媛県漁業協同組合宇和島事業部が、調査日2日前を目処に上記漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝(2年貝)をサンプルとした。

4 調査項目および判断指標

- ・グリコーゲン含量(%): アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- ・a 値: 閉殻筋(貝柱)の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。
赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。